

令和6年度全国学力・学習状況調査結果（湖西市）

湖西市教育委員会

7月に、文部科学省は4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果を公表しました。調査結果について、全国の正答率と併せて、湖西市の子どもたちの様子をお知らせします。

1 調査の概要

- ◆目的 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◆実施日 令和6年4月18日
- ◆実施対象 中学3年生
- ◆調査内容
  - ・教科調査（国語、数学）
  - ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

2 結果の概要（全国との比較）

教科	
国語	◎
数学	◎

質問紙	
国語への関心等	◎
算数への関心等	◎
規則正しい生活	◎
自分に関すること	◎
学校・友達に関すること	◎
家庭学習に関すること	◎

◎＝全国平均を上回る（+1以上）  
 ○＝全国平均とほぼ同じ（±1以内）  
 △＝全国平均を下回る（-1以下）

教科に関すること

○よいところ

教科	問題番号	内容・領域	問題の概要	出題の趣旨	正答率（市）	全国との比較
国語	2二	情報の扱い	・本文中の情報と情報との関係を説明したのとして適切なものを選択する。	・具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	77.3	◎
	3一	書くこと	・物語を書くために集めた材料を取捨選択した意図を説明したのとして適切なものを選択する。	・目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。	79.7	△
	4三	言語文化	・行書の特徴を踏まえた書き方について説明したのとして適切なものを選択する。	・行書の特徴を理解している。	76.9	◎
数学	6(1)	数と式	・規則性を見つけ、正しく計算する。	・正の数と負の数の加法の計算ができる。	92.4	◎

	8(1)	関数	・グラフとy軸との交点座標を求める。	・グラフとy軸との交点座標を求めることができる。	85.7	◎
	8(3)	関数	・グラフを読み取り、条件に合致する組み合わせとその使用時間を求める。	・グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができる。	79.7	◎

### △もう少しがんばりたいところ

教科	問題番号	内容・領域	問題の概要	出題の趣旨	正答率(市)	全国との比較
国語	1三	情報の扱い	・話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する。	・意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	45.1	◎
	2一	読むこと	・本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する。	・文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。	39.0	◎
	4二	読むこと	・短歌に詠まれている情景の時間帯の違いを捉え、時間の流れに沿って短歌の順番を並べ替える。	・短歌の内容について、描写を基に捉えることができる。	47.9	○
数学	7(2)	データの活用	・問題場面の結果について、5つの箱ひげ図を比較して説明する。	・複数のデータの傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的表現を用いて説明することができる。	28.5	◎
	8(2)	関数	・異なる条件からストープの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する。	・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。	16.2	○
	9(1)	図形	・三角形の合同を証明する。	・筋道を立てて考え、証明することができる。	30.9	◎

### ◆成果と課題

国語・数学ともに全ての領域で全国平均を上回っており、資質・能力がバランスよく身に付いていることが分かりました。

国語では、文章を読み理解したことを、自分の知識や経験と結び付けて記述する問題に課題があるようです。日頃から本を読む習慣や自分の考えをまとめて書くなどの取組

みが必要だと感じました。数学では、特に「数と式」の問題で全国平均を上回る正答率となりました。しかし、数学的な考え方を記述する問題では、「複数の集団のデータの何を用いるか」と「問題解決のためにどう用いたか」を数学的な用語を用いて説明することに、課題のある生徒が多いことが分かりました。

◆**今後の取り組み** 湖西市では、各学校で6月までに「振り返り」を実施しました。

- 解答例の説明に加え、誤答について「どうして間違いなのか」「どこが間違っているのか」など考える機会を設けた。
- 苦手とした問題を復習し、同じ問題あるいは類似問題を解いた。
- 国語・数学の授業や、他教科の学習で、設問と似た学習場面を意識的に設定した。

★国語★

- ・生徒が書いた文章を、互いに推敲する場を設けることで、書く力と共に読み取る力を培う。
- ・具体化、抽象化について学習し、部分と部分の関係性（根拠と考え、原因と結果など）について分析する機会を設定する。

★数学★

- ・数学が日々の生活で役立っている場面を紹介したり、実感させたりすることで数学の良さや必要性を感じさせる活動を行う。
- ・普段から生徒同士で説明し合う活動を取り入れ、対話の中から論理的な思考力を育む習慣をつける。

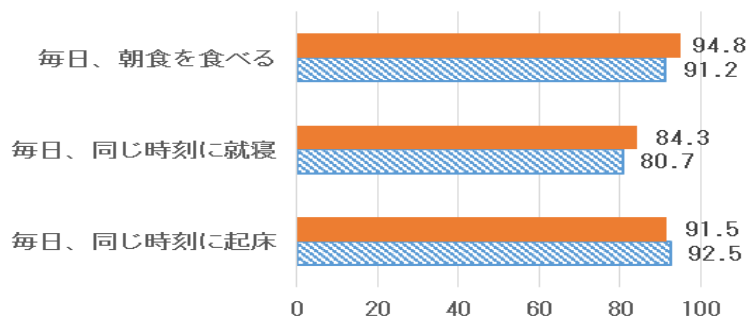
今回の調査結果をもとに、各学校で改めて分析を進めています。それぞれの学校における実態を再度把握し、さらに授業改善を進めていきます。

**質問紙調査に関すること**

■湖西市 ■全国

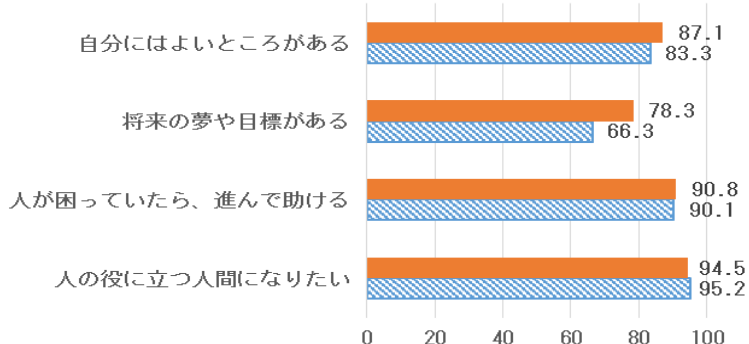
質問紙には、「家庭や学校の生活について」「学校での学習について」等、合計65の質問がありました。湖西市の子どもたちのよいところ、がんばりたいところを紹介します。

◎規則正しい生活



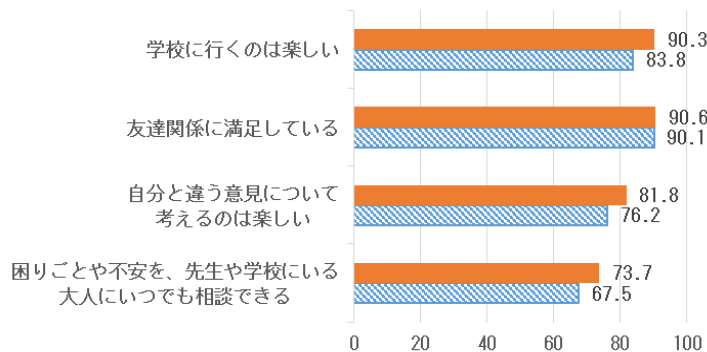
毎日朝食を摂り、十分な睡眠と休養を習慣付けることで、集中力が高まり、学力の定着につながります。日々勉強と部活等で忙しいとは思いますが、帰宅後の時間の使い方を決め、メリハリのある生活が送れるよう、声掛けや見届けをお願いします。

◎自分に関すること



8割以上の生徒が、自分のよさを認めています。家庭、学校、地域の大人が、いつも温かく見守ってくれているという安心感は、生徒の自己肯定感を高め、成長につながります。将来の夢や目標があると答えた生徒が全国平均と比べて高い傾向も見られました。自立に向けて、様々なことに挑戦し、ねばり強く取り組んでもらいたいと思います。

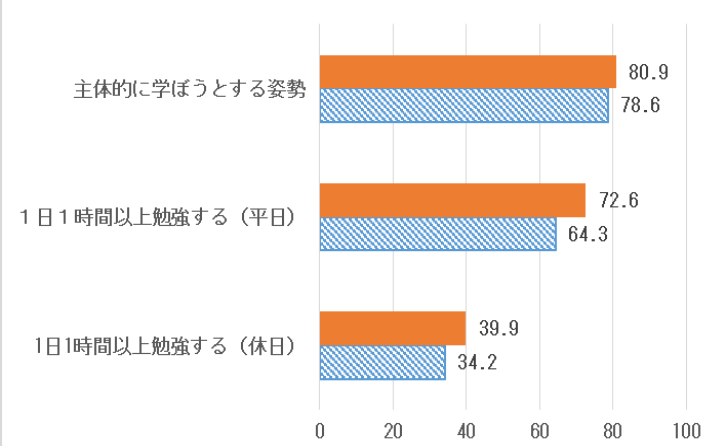
### ◎学校・友達に関すること



9割の生徒が「学校が楽しい」「友達関係に満足している」と答えています。

学校は、いろいろな人とのかかわりについて学ぶ場でもあります。多感な時期、困りごとや不安があり、悩むこともあると思います。そんな時は、一人で悩むのではなく、まわりの話せる人に相談しよう、というメッセージを学校からも伝えていきます。

### ◎家庭学習に関すること



主体的に学ぼうとする生徒の割合は、全国平均と比べて高い傾向にあります。1日の勉強時間からもその様子が伺えます。

家庭でも、学習や娯楽に ICT 機器が欠かせなくなっています。今回の調査では、SNS や動画視聴の時間が長いほど、全教科において、平均正答率が低い傾向が見られました。使用する時間や場所、内容など、いま一度お子さんとルールを話し合ってみてください。

## 学びの基礎 7つの取り組み

### 愛情と思いやりのあふれる家庭づくり

湖西市では、「学びの基礎7つの取り組み」を発達段階に応じて設定し、推進しています。食事や運動、睡眠など、学びの基礎となるのは基本的な生活習慣です。学力調査の結果からも、生活習慣と学力の相関関係が出ています。今後も家庭と学校、地域が連携して、子どもたちの学びの礎を築いていきましょう。御協力をよろしくお願いいたします。

- ことばを大切に、自分の考えをもとう
- 笑顔で気持ちよくあいさつをしよう
- 規則正しい生活習慣を身につけよう
- 家族と約束して、テレビやスマホ中心の生活を見直そう
- 健康な体づくりに努めよう
- 夢に向かって、いろいろな体験をしよう
- 栄養バランスのよい朝食をとろう

調査問題や正答例を詳しく見たい方はこちら

